

本院で膵癌に対して手術を受けられた

患者さん・ご家族の皆様へ

【研究課題名】

高齢者膵癌における膵切除術の短期および長期成績の検討

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。
2005年5月～2018年2月に当院で膵癌に対して手術を受けられた方

【研究の目的・方法について】

膵癌の発生には年齢が関与しており、社会の高齢化に伴い罹患数が増加しています。それに伴い75歳以上の高齢者に対する膵切除数も増加しておりますが、膵切除は他の手術方法に比べて体への負担が高く、若年者に比べて基礎疾患を多く有する高齢者に対する膵切除の安全性は未だ明らかではありません。

本研究では、高齢者膵癌における膵切除術の短期合併症および長期生存率の検討を行います。なお、本研究は、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。
研究期間：2022年3月25日～2025年3月31日

【使用させていただく試料・情報について】

本研究は、本研究の対象となる患者さんのカルテに記載されている、年齢、性別、腫瘍マーカー、癌の再発などの情報を使用します。本研究に関わる関係者は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系倫理指針」および、研究対象者（患者さん）の個人情報保護について適応される法令および条例などを遵守し、研究責任者が、患者さんの情報を管理する際には、匿名化を行うために新たに研究対象者識別コードを作成するなど、大切な患者さんの個人情報が守られるよう最大限の努力をさせていただきます。なお、患者さんの個人情報は削除し、匿名化して、プライバシー保護には細心の注意を払います。

【使用させていただく試料・情報の保存等について】

本研究に使用した情報は、論文発表後10年間、大分大学医学部消化器・小児外科学講座にて保存いたします。保存期間終了後は個人を識別できる情報を取り除いた上で廃棄します。

【外部への情報の提供】

本研究で収集した患者さんの情報を他の機関へ提供する予定はありません。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来医薬品などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。しかし、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部消化器・小児外科学講座の基盤研究費を用いて研究が行われます。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

研究責任者	大分大学医学部消化器・小児外科学講座	教授	猪股雅史
研究分担者	大分大学医学部附属病院消化器外科	病院特任助教	平下禎二郎
	大分大学医学部附属病院消化器外科	医員	藤永淳郎

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない

範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5843

担当者：大分大学医学部消化器・小児外科学講座

藤永 淳郎（ふじなが あつろう）